



大江町教育委員会

やりたいスポーツ・文化芸術活動はできるの？

平日の部活動と休日の活動のつながりはあるの？

休日、やる事が無くて家にばかりいることにならない？

子どもがやりたくないことまで求められても困るんだけど

子どものことを理解してくれる指導者にしてほしいんだけど

家庭の負担が増えてしまうような気がしているんだけど

大江町における 部活動改革の方針

大江町の生徒にとって望ましいスポーツ・文化環境を構築するには

地域全体とは

「大江町」と「学校」と「運営協力団体」

地域全体で体験機会を確保

体験機会の確保とは

休日のスポーツ・文化芸術活動の場所・指導者の確保

01 スポーツ・文化芸術活動に親しみ、様々な体験をする機会を確保するため、地域全体で継続的に支える仕組みを創出する

部活動改革を進めるうえで地域全体で考えていきたいことは

学校の体制整備

①部活動の任意加入

部活動が生徒の自主的・自発的な参加により行われるという現行の学習指導要領の趣旨を踏まえ、部活動の加入は任意とするよう体制を整備する。

②複数顧問の配置

部活動顧問の配置に当たっては、可能な限り複数顧問体制を検討する。

③複数校合同チームの取り組み

部員数の減少に伴い特定の部活動が著しく停滞する場合や部活動指導員や外部指導者が配置できず、専門的な指導のできる教職員もいない場合等には、近隣学校の校長と協議し、複数校合同チーム等の取り組みを推進する。

④休日部活動の廃止 県部活動ガイドラインの遵守

令和8年度から休日の部活動は廃止する。活動時間は県部活動ガイドラインを遵守する。
※令和7年度途中から休日は月1回の活動。

新たな受け皿となる地域クラブ等との連携に向けた環境整備

①体制の整った種目から

「教員・生徒・保護者の関係性」や「部活動の教育的意義」を継承させつつ、関係者の理解を得ながら段階的に移行をしていくことが望ましいことから、当面は、学校部活動をベースに学校と地域が緩やかに連携していく形で取り組む。

②ガイドラインの遵守

学校とも連携して国や県の「山形県における運動部活動の在り方に関する方針」等のガイドラインを遵守する。

③広域連携の推進

近隣市町村との協議を通じ、生徒が可能な限り取り組みたいものができる体制を検討していく。

④生涯スポーツ・生涯学習クラブ化の検討

生涯スポーツや芸術団体の活性化の観点から大人から子どもまでのクラブ化やマルチスポーツ環境の構築も検討していく。



大江町部活

02 地域クラブに移行する課題と地域全体で取り組んでいきたいこと

1

関係者の理解

地域クラブ移行の本来の目的や方針などについて、生徒や保護者、スポーツ・文化団体関係者の理解や協力は不可欠

2

指導者の確保

地域の関係者との連携により専門性や資質を有する指導者を確保する必要がある

3

指導者の研修機会の確保

指導者は部活動ガイドラインに準じ、生徒との十分なコミュニケーションを図る等、資質能力を高める研修機会が必要

4

活動場所や移動手段の確保

活動場所は、部活動と地域クラブ活動の統一したルールづくりが必要である。休日の試合等の場合は移動手段が課題

5

活動を支える仕組みづくり

地域クラブ化を円滑に実現するためには、行政とは別に運営面の中核を担う組織やコーディネーター等の人材確保が必要

6

関連制度の在り方

地域クラブ移行は、勝利至上主義のために行われるものではない。スポーツや文化活動が生涯学習活動として根付いていくことを主眼

7

地域クラブ移行例

- ①単一クラブ型（「保護者クラブ型」含む）
- ②スポーツ少年団連携型
- ③総合型地域クラブ型（休日自由参加型）



03

部活動改革は大きな意識改革

地域全体で「生徒にとって」よりよい活動になるように

生徒が休日の過ごし方を選ぶ

「運動部に所属している人は休みの日も運動しかできないの？」
→部活動改革をきっかけに、休日の過ごし方は選択できる。社会教育活動でも文化芸術活動でも、違った種目の運動でも自主的にデザインできる。

やりたい種目を望む志向で出来る

「自分の学校に無い種目はできないの？」
→今までではできなかった町に無かった種目も近隣市町などと連携することで行うことができる。また、どのレベルでスポーツや文化芸術活動に臨みたいかも自分で選択できる。

部活動 改革を



プラス に変換

少子化でも連携してチームを組める

「下の学年が入らなくて試合や発表の場がある心配」
→合同チームや地域クラブに活動の場を求めて、町や学校単独では出れなかった大会にも参加していくことができる。送迎等まだまだ課題はあるが、よりよい形を模索できる。

自分に合った休養をとることができる

「平日は遅くまで練習で、休みの日も練習と試合ばかりで体が休まらない」
→部活動はもともと任意加入が原則。生徒の成長に合わせた休養や家族の時間を確保することもできる。

この改革をチャンスにしなければ

これからの児童・生徒により良い環境を提供するには「地域全体」で

自分事とし、理解度を上げ、マイナスばかりに目を向けず、
出来ることからやっていく、各々の立場からの協力が必要不可欠



スポーツ・文化芸術活動に携わりたい

協力できることを知りたい

クラブを立ち上げたい

この改革に関わりたい 等のお問い合わせは

大江町教育文化課スポーツ振興係へお問い合わせ
してください。0237-62-3663